

会 議 録

| | | |
|----------------------|--|--|
| 会 議 の 名 称 | 第2回 リサイクルプラザ事業再構築庁内検討委員会 | |
| 開 催 日 時 | 午前 10 時 00 分から 令和6年7月26日(金) | 午前 11 時 00 分まで |
| 開 催 場 所 | 朝霞市役所別館 5階 501 会議室 | |
| 出 席 者 | (検討委員会委員) 紺清委員長、又賀副委員長、櫻井委員、長谷川委員(中谷委員代理)、西島委員、増田委員、飯泉委員、 (議題の関係で出席した人) 塩味都市建設部次長兼開発建築課長 (事務局) 木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐、新川資源リサイクル係長、西田施設管理係長、市之瀬リサイクルプラザ所長、千田主事補 | |
| 会 議 内 容 | 議題 (1) アンケート結果の分析について (2) 検討条件の整理について (3) 啓発事業の可能性について (4) その他 | |
| 会 議 資 料 | ○会議次第 ○資料2-1 アンケート結果の分析 ○資料2-2 アンケート集計結果 ○資料2-3 検討を進める上での条件整理 ○資料2-4 啓発事業の方向性 | |
| 会 議 録 の 作 成 方 針 | <input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保管年限 年) | |
| | 電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後6ヶ月 |
| 会議録の確認方法 委員長による確認 | | |

審議内容（発言者、発言内容、結論等）

【開会】

- 木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐
会議概要説明、資料確認
委員長及び会議の議長を紺清委員長にお願いする。

【委員長あいさつ】

【議事】

- 紺清委員長
議題（１）アンケート結果の分析について事務局から説明をお願いする。

- 木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐
議題（１）についての説明

- 紺清委員長
議題（１）について意見や質問はあるか。

- 西島委員
アンケート結果について事務局として期待していた回答とギャップはあるか。

- 木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐
来館者層は予想どおりであった。ショップに対する改善要望という点では、出品ルールがかなり大きな割合を占めており、出品ルールに対してそこまで不満に思っている事が意外であった。またフリーマーケット、バザーの開催についての要望の声が大きいことも意外であった。

- 紺清委員長
議題（２）検討条件の整理について事務局から説明をお願いする。

- 木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐
議題（２）についての説明

- 紺清委員長
議題（２）について意見や質問はあるか。

- 西島委員
地域の充足とはどの範囲で想定されているか。

審議内容（発言者、発言内容、結論等）

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

本施設建設に際して活用した交付金が、防衛施設の周辺にある地域に対して交付をするという前提があるため、防衛施設の周辺位の規模感を地域の定義として捉えている。そういった意味では本市と和光市はほぼ似たような環境にあり、立地条件も同じであること、朝霞和光資源循環組合という一つの枠組みができたことから、その範囲内での地域の充足を今は考えている。

○飯泉委員

同種の社会資源が充足しているから、リサイクルプラザの事業再構築という流れがあると思うが、和光市の意見も取り入れなければいけないのではないかと。また和光市内の新施設について、本市から非常に遠いため、朝霞市民ではなく和光市民がよく利用するような施設になるのではないかと。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

家具の事業に関しては、立地条件の良さが販売に繋がっている点もあり、わざわざ新施設に行く人はいないということは事実としてある為、家具の事業の方向性を出すのは時期尚早だと考えている。よく和光市と協議をして意向確認をした上で、本市としてどうしていくかという段階を踏みたい。ただ、小学生対象の見学等の啓発の展示は新しい施設の方が圧倒的に良いものができるため、事業によって、新施設に移行するものと本市として継続するものとの選別が必要になってくると考える。

○又賀委員

全てが充足しているなら、全て廃止になるのか。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

地域における充足とは、あくまで交付金に係る要件であって、充足しているから廃止するという事ではない。

○塩味次長

リサイクルプラザの用途変更後、建て替えや民間への売却というのはあるか。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

建て替えや売却はあまり考えずに、市として建物をどう効率的に使うかという視点での検討を中心にしたいと思っている。

○紺清委員長

議題（3）啓発事業の方向性について事務局から説明をお願いします。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

議題（3）及び資料2-4 3(1)リサイクルショップについての説明

審議内容（発言者、発言内容、結論等）

○紺清委員長

議題（3）及び資料2-4 3（1）について意見や質問はあるか。

～委員から意見なし～

○紺清委員長

資料2-4 3（2）リサイクル家具類販売事業について事務局から説明をお願いします。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

資料2-4 3（2）についての説明

○紺清委員長

資料2-4 3（2）について意見や質問はあるか。

○飯泉委員

新施設では粗大ごみで持ち込まれたものから綺麗なもののみを取り出して展示し、無償で提供するという流れであるため、人の手間はほとんどかけない。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

本市は手間とお金をかけて販売というスタイルのため、和光市と考え方の違いがある事業である。先ほども申し上げたが、和光市と協議したうえで本市としてどうしていくか考えていかなければならない。

○飯泉委員

さいたま市はネットでの個人売買等の影響で展示販売を止めた。新施設では家具を展示して市民の方に持って行ってもらうくらいは考えているほか、小学生や市民の方が見学に来た時に満足してもらえるように見学ルートの設定も考えている。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

検討の際はネットでの個人売買等も条件にはなってくるが、家具類販売事業はお金や人も必要な事業であるため、事務局として現時点でやるかやらないかというところまでの考えには至ってない。和光市の意見を伺ったうえで決めていきたい。

○紺清委員長

本市の方で手間をかけて綺麗にして家具を展示するというやり方を続けていくか協議しながら進めていくかということによろしいか。

審議内容（発言者、発言内容、結論等）

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

その通りである。

○西島委員

展示販売された家具の売れ残り率というものは上がっているのか。

○市之瀬リサイクルプラザ所長

売れ残り品は金額を下げるなどして再販売し、さばけているというケースが多い。最終的にそれでも残ってしまったものは無償で譲渡するなどし、それでも最終的に残ったのは昨年度だと2件である。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

今の補足だが、最終的にさばけていくという要因の1つがリサイクルプラザの立地の良さである。人通りの多いところのため、立ち寄っていただいて、こんなものがあるのかということで最終的に引き取ってもらえているという要素はあると思う。

○増田委員

今年から東洋大学が移転してきたため、来年度以降はもしかしたら東洋大学の方も買ってくれるかもというのが期待できる場所である。

○市之瀬リサイクルプラザ所長

東洋大学には、学内にリーフレットを配架させていただき許可をいただいている。

○又賀委員

家具の展示販売について残すかということについて、指定管理や民間委託という選択肢はあるのか。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

シルバー人材センターへの委託の範囲を広げるという案は考えられる。

○又賀委員

知り合いでも、子供の学習機を買いに行くというような話を聞いているため、まさに啓発の取り組みであり、個人的には残した方が良いと思う

○紺清委員長

資料2-4 3(3)以降について事務局から説明をお願いします。

審議内容（発言者、発言内容、結論等）

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

資料２－４ ３（３）以降についての説明

○紺清委員長

資料２－４ ３（３）以降について意見や質問はあるか。

○櫻井委員

新しい施設にはどういったものが入るのか、イベント等は行うのか。

○飯泉委員

まだ使える家具の展示スペースやそのための収納庫、講座やイベント用の会議室、施設見学ルートがある。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

補足すると、新しい施設では実習して工作が出来る部屋がないため、実際に実習をするような講座というのはリサイクルプラザの方が向いている。見学室やごみ処理の過程を見て学ぶというやり方は新施設の方がよいというふうな整理の仕方を考えている。

○西島委員

本市も環境に対する常設的な取り組みをしていかなければいけないと感じた。

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

事務局としても議論があり、ごみともう少し広い視点の環境というのを棲み分けるという案が出たため、今回提案をさせていただいた。本市として検討していく過程で考えていく話かと思うため、アイデアについてはいろいろ大きく広げていければと考えている。

○紺清委員長

議題（４）その他の項について事務局から説明をお願いします。

○新川資源リサイクル係長

議題（４）についての説明

○紺清委員長

議題（４）について意見や質問はあるか。

～委員から意見なし～

審議内容（発言者、発言内容、結論等）

○紺清委員長

本日の議題がすべて終了したため、事務局へお返しする。

【閉会】

○木田資源リサイクル課主幹兼課長補佐

以上で第2回朝霞市リサイクルプラザ事業再構築庁内検討委員会を閉会する。